

# がんばるで〜 青年



国労西日本本部青年部

機関誌 がんばるで〜青年! 3号

発行責任者 強田 安昭

編集責任者 清水 良輔

## 夏季手当で生活改善を!

国労本部は貨物会社に『2014年度夏季手当の支払いに関する申し入れ』を行いました。要求額は基準内賃金の3.0ヶ月です。

貨物会社の2013年度決算は、年度途中で経常利益を当初計画の34億円から18億円と下方修正しましたが、最終的にバブル期以来の高水準である経常利益34億円を計上しました。下方修正した額と16億円の差があります。この大きな差額は何かあったことでしょうか?それは、前年度から大きく減額された夏季手当と年末手当、簡単に言うと年間2回のボーナスの差額です。2012年度と2013年度では年間で0.8ヶ月分のボーナスが減となりました。0.1ヶ月分の前原資が約2億円と計算されていますので、0.8ヶ月分と言えば約16億円となります。計画を大きく上回る経常黒字は社員の生活を犠牲にしてなりたつたものでしかありません。常々、会社は『業績の還元はボーナスで』と言っています。となると、今回の夏季手当が昨年並みの超低額で許されるはずがありません!



また、国労西日本本部は西日本会社に対して夏季手当の0.5か月分の追加支払いを求める要求書を提出しています。

当初は昨年度決算が減益になると説明していました。しかし、連結・単体とも4期連続の増収増益で、純利益も2期連続の増益となりました。その結果として株主には増配しますが、期末手当が昨年と同率ではおかしくないでしょうか?

年々上がる社会保障費用に今年4月から消費税まで増税され、貨物会社では年収が増えるどころか減っていく一方で、私たちの生活は良くなるどころか悪くなってばかりです。生活を改善するためにも、職場から声を上げて要求を満額勝ち取りましょう!

